



スクールリポート

▶ 学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「みんなで育てた米」 お餅でおもてなし

神戸小学校



●餅つきをする児童



●餅をこねる児童

神戸小学校では、毎年5年生の子どもたちが総合的な学習の時間に学校の東側にある田んぼで米作りを行っています。今年度は、5月に地域の方から苗の植え方を教えてもらいながら、たくさんの稲をみんなで手際よく植えることができました。9月には、しっかりと実を付け黄金色に輝く稲を、一束ずつ鎌で刈りました。子どもたちにとって、最初は難しい稲刈りでしたが、たくさん刈っていくうちに上手に刈ることができるようになりました。

12月には、保護者の方の応援を得ながら杵と石臼を使って餅つきをしました。初めて持った杵は重く、なかなかうまくつくことができませんでしたが、みんなで協力してたくさんの餅をつくことができました。そして、丸めた餅に餡、きな粉、砂糖醤油の味を付け、全校児童にふるまいました。子どもたちは、つくたての餅をおいしそうに頬張っていました。残った餅米は、1月末に行われたPTAバザーで出品されました。地域や保護者の方と共に稲を育て、昔ながらの技術を経験していく学習を今後も続けていきたいと思っています。



「地域の役に立つ人材になる」 避難所体験学習

清田小学校

清田小学校では、子どもたちが主体的に危機回避能力を身に付け、将来起きると予想される南海トラフ地震の際に地域で活躍できる人材となることを願って毎年「避難所体験学習」を実施しています。

令和元年7月25日(木)に、救急法・初期消火・パッキング・口腔ケア・グループワーク・リラクゼーションと、限られた時間の中で非常に多くのことを学びました。その中でも、初期消火やパッキングなどで地域に住む大人の方々と一緒に活動できたことは、子どもたちにとって地域とのつながりを感じる貴重な体験となりました。

子どもたちからは、「^{エーディー}AEDは難しいと思ったけど、僕たちでもできそうだ」「リラクゼーションは、心が楽になることが分かったよ」「私たちも、何か役に立つことがあれば協力して乗り越えたい」という声が上がりました。

地域の役に立つ人材として、子どもたちは着実に成長しています。



●パッキング体験



●救急法(AED)を教わる児童